

教科	国語	科目	言語文化	年次	2	単位数	2
使用教科書 (副教材など)		新編言語文化（東京書籍）					

学習 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指します。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにします。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにします。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。	
評価の 観点	① 知識・技能	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることや、文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。また、読み書きをすることができる常用漢字や、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。
	② 思考・判断・表現	作品や文章の内容や解釈を踏まえ、共感したり想像したりすることで、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。また、自分の知識や体験、考えが効果的に伝わるよう、表現の仕方を工夫している。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、他者と関わりながら、共感したり想像したりして、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。
評価の 方法	定期考査に加え、提出物（ノート、学習プリント等）、小テストの成績、作成したレポートや資料などを総合的に評価します。また、平常の取組についても評価の対象とし、授業態度や参加姿勢等を、総合的に評価します。	

	単元	学習内容
前期	1 さくらさくらさくら	・具体例から日本と外国での桜に対する感じ方や考え方の違いを理解します。 ・短歌の内容と詠まれた心情についての考察を踏まえて、筆者の桜への思いを整理します。
	2 古文に親しむ	・歴史的仮名遣いについて学び、古文と現代文の違いを確認します。
	3 児のそら寝	・歴史的仮名遣いに慣れるとともに、児の気持ちの変化を整理します。
	4 柳あをめる	・音読して歌のリズムを味わいます。 ・それぞれの歌について、読解・鑑賞をして話し合います。
	5 夢十夜	・表現に即して小説を丁寧に読み味わいます。 ・登場人物の心情の変化を読み取り整理し、話し合います。
	6 訓読の基本	・漢文の基本構造を理解し、訓読の方法を習得します。
	7 故事成語	・故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しみます。 ・内容や故事成語に込められた意図を確認し、我々の生き方を考えることができる身近なものであることを理解します。
	8 枕草子	・古今異義語など古典特有の表現について理解します。 ・平安時代と現代の価値観について話し合い、現代の「ものづくり」を作成します。
後期	9 絶句と律詩	・近体詩の特徴やきまりについて学びます。 ・漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しみます。
	10 伊勢物語	・歌物語に描かれている内容を、叙述を基に捉えます。
	11 論語	・和歌を中心に登場人物の心情を読み取ります。 ・孔子の考え方に触れ、自分たちの生き方について考え、話し合います。
	12 デューク	・現代小説の面白さを味わい、丁寧に読解を進めます。 ・登場人物の言葉、行動から、心情を読み取ります。
	13 平家物語	・軍記物語特有の表現に注目しながら、登場人物の言動を把握し、心情を読み取ります。 ・印象に残った場面や表現を取り上げ、現代語に書き換えて発表します。
	14 史話―三編	・話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話の面白さを味わいます。